

事業カルテ (4年度決算)

公園緑地課

08-03-04-493

公園管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	特例事務	基礎となる法令	都市公園法				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち					
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり				
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画						
関連する報告書など	多摩市みどりのルネッサンスへの取り組み						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年4月に新住宅市街地開発事業により整備された公園の管理を行うため、当時の建設部内に組織が設置され、現在(令和4年1月1日)208公園緑地を市民が安全・安心に利用できるよう管理している。これまで、各公園の実情をもとに公園管理業務委託における施設の草刈回数や清掃回数等の見直しとともに公園の美化活動としての公園愛護会や花壇管理のアダプト、緑地管理のグリーンボランティアとの協定による公園管理の市民協働を推進しながら、管理経費の削減に努めている。令和4年度は、公園管理業務委託の複数年契約の1年目となる。						

◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	地球と人にやさしい持続可能なまちづくりを進めていく中で、市内の208公園緑地を安全・安心で快適な公園にするとともに、みどり豊かな緑地を保全していくために、公園施設を計画的に管理運営する。また、公園や緑地の樹木について、地域特性や暮らしと調和するみどりのあり方を地域との合意形成を図りながら、「みどりのルネッサンス」に基づき、みどりの量から質への転換及び公園利用の拡充を図る。
予算の執行方法	公園・緑地を安全かつ快適に維持し、施設の保全を図るため、公園管理業務委託及び「みどりのルネッサンス」に伴う市民協働に関する予算を適切に執行した。
事業の成果	適切な公園・緑地の維持管理により、利用者が、安全・安心に快適に利用することができ、市民生活に余暇や休息を与えることができた。また、平成26年度に策定した「みどりのルネッサンス」を踏まえて、市民が公園緑地に関わる機会の創出や今後の公園管理のあり方検討への参画に向けて、市民ボランティア等との協議や、取り組みの試行(大栗橋公園や多摩中央公園の社会実験、連光寺六丁目の農業公園づくり事業)を行った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	575,754 千円	653,036 千円	688,226 千円	644,043 千円	642,011 千円	
事業にかかる実コスト	637,040 千円	715,487 千円	749,248 千円	702,613 千円	701,341 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	8,500 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	12,679 千円	9,154 千円	3,824 千円	22,619 千円	42,709 千円
	一般財源	563,075 千円	635,382 千円	684,402 千円	621,424 千円	599,302 千円
	間接経費					
職員人件費	57,964 千円	58,876 千円	57,425 千円	54,996 千円	57,763 千円	
《従事人員数》	6.90 人	6.86 人	6.86 人	6.64 人	6.96 人	
その他の人件費	3,322 千円	3,575 千円	3,597 千円	3,574 千円	1,567 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	公園利用者が安全で快適な公園の維持管理を行う。	目標	654,464千円	663,984千円	676,213千円
		結果	644,043千円	642,011千円	—
成果指標 (アウトカム)	地域との合意により改善を行った公園及び緑地の箇所数。	目標	15箇所	15箇所	15箇所
		結果	11箇所	14箇所	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	ニ 量 的	財 一 源 般			
B	B	B	イ	今後の公園管理のうち、ハード面に関しては、「多摩市公園施設長寿命化計画」の改訂に基づく施設の更新を行っていく。ソフト面に関しては平成26年度に策定した「みどりのルネッサンス」を踏まえ、市民が公園緑地に関わる機会の創出や都市公園法改正による民間連携や公園利活用の推進について、市民・事業者との対話を重ねながら、取り組みの検討を進めていく。	

08-03-04-493

公園管理経費

◇ 執行状況及び成果等

1 維持管理執行内訳概要

年度 件名	30	元	2	3	4
報償費 (公園愛護会等)	5,075,000	4,980,000	4,886,000	5,004,000	4,925,000
需用費 (消耗品・燃料費等)	31,855,568	33,246,671	31,911,044	32,001,279	35,770,728
役務費 (電話料・保険料等)	241,673	214,471	238,621	229,575	247,672
委託料 (公園管理業務委託等)	473,291,296	550,197,365	593,545,093	554,957,762	549,781,446
使用料及び賃借料 (用地借上料等)	14,939,858	13,459,827	13,454,898	13,439,724	13,365,723
工事請負費 (公園施設改修工事等)	46,083,610	47,457,689	42,578,093	35,989,250	33,797,280
その他 (原材料、負担金等)	4,266,639	3,480,196	1,612,875	2,421,738	4,123,386
合計	575,753,644	653,036,219	688,226,624	644,043,328	642,011,235

2 地域との合意による改善箇所数

年度	件数	概要
30	13	大谷戸川緑地内から根の侵入防止対策(防根シート設置)、原峰公園樹木剪定、とりで公園樹木剪定等
元	15	馬引沢第1公園樹木剪定及び伐採、貝取南公園・永山第1公園の樹木剪定、奈良原公園樹木越境枝の剪定等
2	15	聖ヶ丘緑地樹木剪定、多摩東寺方緑地保全地域の樹木剪定、貝取山緑地園路舗装及び枯木伐採、よこやまの道ベンチ改修等
3	11	長久保公園広場改修、季久保公園樹木剪定、高岸公園の利用ルールを作った看板設置等
4	14	東部児童公園樹木剪定、落合第2公園平板園路改善、榎戸公園時計補修工事等

事業カルテ (4年度決算)

公園緑地課

08-03-04-494

公園整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法、都市緑地法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出			
	関連する施策	E2-4	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画/多摩市公園施設長寿命化計画					
関連する報告書など	多摩市みどりと環境基本計画年次報告書/多摩市みどりのルネッサンスへの取り組み					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩市の公園整備事業は、多摩ニュータウン事業による各施行者により整備が進められ、昭和48年頃から順次市に移管されてきた。一方、既存地域では、原峰公園等の整備に加え、和田緑地保全の森など緑地保全の指定を行いながら事業を展開してきている。「多摩市公園施設長寿命化計画」等に基づき、国の補助金(社会資本整備総合整備交付金)とともに、都市計画事業認可取得により用地買収や改修整備等に都市計画税を活用し、市の一般財源負担の軽減を図りながら、自然環境の保全と都市公園の整備・更新を進めている。					

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	市が政策的に進めるかわまちづくり計画の登録に伴う「一ノ宮公園拡張整備」、住宅市街地総合整備関係の計画期間が令和5年度に終了するため、「諏訪第五公園、諏訪北公園改修整備工事」が始まる年度となる。また、公園施設長寿命化計画は、策定から5年に一度の見直しに向けて着手し、街区公園の改修は今年度も中止し、D判定遊具及び標準使用期間を過ぎているC判定遊具のみの改修を行う。(仮称)連光寺六丁目公園用地の農的活用の具体化に向け、試験事業を実施する。新堂緑地では緑地の傾斜地の一部に斜面崩壊の予兆がみられるため、対策工事を行う。	
予算の執行方法	多摩市公園施設長寿命化計画の見直しに向け、健全度調査等を行った。 かわまちづくりについては、一ノ宮公園の拡張工事を行った。 住宅市街地総合整備計画に基づき、諏訪第五公園及び諏訪北公園の改修工事の1年目を実施した。公園利用者の安全のため、老朽化した公園遊具の改修を実施した。 連光寺六丁目の農業公園づくりでは、公募市民が参加した試験事業を実施した。	
事業の成果	大栗橋公園においては、地域と合意形成を図り、社会実験を行いながらニーズ調査や実現可能性を検証し、設計内容を決定した。連光寺六丁目の農業公園づくりでは、試験事業の実施を通して、自然環境の保全とともに、特色ある公園づくりに取り組んだ。また、遊具の改修については、事故を未然に防ぎ公園利用者の安全の確保を最優先に行った。	

◇事業にかかる費用

区分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	87,113	492,463	99,333	703,445	256,597	
事業にかかる実コスト	100,638	520,184	132,817	728,293	273,196	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	19,000	31,600	12,443	33,203	35,000
	都支出金	0	30,000	52,160	129,549	50,805
	地方債	0	35,200	0	0	0
	その他特定財源	0	88,377	0	332,047	25,700
	一般財源	68,113	307,286	34,730	208,646	145,092
	間接経費					
職員人件費	13,525	27,721	33,484	24,848	16,599	
《従事人員数》	1.61	3.23	4.00	3.00	2.00	
その他の人件費	0	0	0	0	0	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	D判定遊具の改修を実施する公園の数	目標	D判定遊具の改修を実施する(対象公園19箇所)	D判定遊具の改修を実施する(対象公園20箇所)	D判定遊具の改修を実施する(対象公園12箇所)
		結果	D判定遊具の改修を実施した(対象公園11箇所)	D判定遊具の改修を実施した(対象公園16箇所)	—
成果指標 (アウトカム)	遊具点検に基づくD判定遊具改修の数	目標	D判定遊具の改修する数(22個)	D判定遊具の改修する数(23個)	D判定遊具の改修する数(19個)
		結果	D判定遊具を改修した数(16個)	D判定遊具の改修した数(23個)	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	B	B	イ	D判定の遊具は令和5年度をもって、全て更新できることから、改定する公園施設長寿命化計画において、今後の改修方針を定める必要がある。

08-03-04-494

公園整備事業

◇ 執行状況及び成果等

1 街区公園D判定遊具等改修工事

年度	件名	金額(円)	改修した公園数	改修した遊具数		
				C (標準使用期間を超過している)	D	合計
3		¥47,790,915	11	10	6	16
4		¥43,926,424	16	22	1	23

事業カルテ (4年度決算)

公園緑地課

08-03-04-498

多摩中央公園改修整備・運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち	
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新
	関連する施策	-	-
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画/多摩市公園施設長寿化計画		
関連する報告書など	多摩市みどりのルネッサンスへの取り組み		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩中央公園は、パルテノン多摩をはじめグリーンライブセンターや旧富澤家住宅など多摩ニュータウンのシンボルとしての中心性、象徴性を備えた総合公園であるが、1987年(昭和62年)の開園から35年が経過し公園施設の老朽化と共に、誰もがより安心・安全かつ円滑に利用するための園路など改善対策が求められている。平成30年の市民意見交換会や市民アンケート、プレイスメイキングを経て、平成31年に多摩中央公園改修基本方針を策定した。基本方針をもとに民間提案制度(Park-PFI)を導入した公募型プロポーザルを実施し、令和3年10月に設置等予定者がTAMAセントラルパークJVに決定した。		

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	令和3年度
事業の目的、 令和4年度の目標	令和4年度より、CMA連携協議会の事務局運営及び特定公園施設の維持管理を開始する。G.L.C改修整備の建築、造園の実施設計も併せて開始する。特定公園施設の実施設計を進め、譲渡契約を締結し、改修整備を開始する。(3年度にわたる工事の1年度目)	
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> ・CMA連携協議会運営に係る業務【債務負担1年目】 ・特定公園施設管理運営に係る業務【債務負担1年目】 ・G.L.C改修整備(建築・造園)実施設計に係る業務 ・多摩中央公園特定公園施設建設譲渡費【債務負担1年目】 	
事業の成果	令和3年12月に基本協定を締結したが、パルテノン多摩5Fへの出店辞退により、予定より4か月遅れて計画認定・実施協定を締結した。より多くの市民に愛され、利用され続けるように市民との対話を重ね設計内容を決定したが、ウクライナ情勢等の影響により契約締結に至らなかった。また、3回目となるプレイスメイキング社会実験を実施し、市民や利用者、事業者が一緒になって作り上げる公園運営の第一歩を踏み出した。	

◇事業にかかる費用

区分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	2,249千円	49,715千円
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	6,722千円	66,314千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円	2,249千円
	間接経費				
職員人件費	0千円	0千円	0千円	4,473千円	
《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.54人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	公園利用者に愛され、利用される公園を目指し、特定公園施設とその他公園内施設が連携したイベントを実施する。	目標	—	—	プレイスメイキング及び図書館オープニングイベントと連携した事業を実施
		結果	市民説明会、プレイスメイキングそれぞれ実施	市民との意見交換会やワークショップ、プレイスメイキングを実施	—
成果指標 (アウトカム)	—	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	N	B	イ	P-PFI事業の特性を生かした民間事業者による創意工夫やノウハウの発揮を促しつつ、リニューアルオープンに向けた進捗管理を徹底する。

08-03-04-498

多摩中央公園改修整備・運営事業

◇ 執行状況及び成果等

特定公園施設とその他公園内施設が連携したイベント

年度	日付	イベント名	参加者概数
30	11月4日	第1回ブレイスマイキング社会実験「パークライフショー」	カウントなし
元	—	—	—
2	—	—	—
3	3月5日	第2回ブレイスマイキング社会実験「パークライフショー」	2,226人
4	7月2・3日	パルテノン多摩リニューアルグランドオープン記念イベント	949人
4	3月4日	第3回ブレイスマイキング社会実験「パークライフショー」	9,772人

事業カルテ (4年度決算)

公園緑地課

08-03-05-495

みどりの保全育成事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市緑地法
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち	
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出
	関連する施策	C1-1	— — — —
関連する個別計画	多摩すみどりの基本計画、みどりの保全及び育成に関する条例		
関連する報告書など	多摩すみどりと環境基本計画年次報告書		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和50年より保存植物等補助事業を開始した。昭和62年度からは、沿道斜面緑化補助及び苗木等物的補助を開始した。沿道斜面緑化補助については平成14年度より順次見直しを行い、平成26年度からは補助単価を20円/㎡とし、継続することとした。また、長年にわたり実施していた花いっぱい推進事業については行政評価市民委員会の評価により、平成23年度末で事業を廃止した。さらに平成30年度からは、保存植物等補助事業の樹林地補助単価を30円から20円/㎡に減額し、沿道斜面緑化の補助金額と同額とした。令和元年度は5年に一度のみどりの現況調査を実施した。		

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	みどりの保全・育成を図り、市民の健康で快適な生活環境を確保する。花の種からの育成講座やみどりの保全に関するシンポジウムの開催などを通じてみどりの保全について普及推進する。また沿道斜面地については、補助金の交付による保全のための支援からボランティア講座等による人材育成を通じ、住民自主管理への支援に取り組む。多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議を通して連携している自治体とともに広域連携プラットフォームを形成し、周辺自治体と連携したみどりの保全、活用に取り組む。	
予算の執行方法	保存植物や斜面地管理費の一部を補助金として交付した。また、緑の募金事業交付金を活用し、グリーンライブセンター(恵泉女学園大学)の協力のもと、花壇の手入れや種からの育成の講習会を開催した。雑木林の保全育成に関するシンポジウム及びパネル展示を市制50周年記念事業の一つとして市民団体との共催で開催した。	
事業の成果	補助金の交付を通じた民有地のみどりの保全と、管理組合やPTA等の初心者を対象にした花壇の手入れや種からの育成の講習会を実施することで、潤いと快適な生活空間の創出を推進した。雑木林の保全育成に関するシンポジウムや市内各駅周辺施設でのパネル展示を通して、市民活動によって将来にわたり、みどりを保全することの重要性を市民周知した。	

◇事業にかかる費用

区分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	4,668	6,792	4,815	4,437	4,638
事業にかかる実コスト	9,996	12,290	12,828	11,246	9,423
内訳	直接経費				
	国庫支出金	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特定財源	99	111	110	100
	一般財源	4,569	6,681	4,705	4,337
間接経費					
職員人件費	1,176	1,030	3,516	2,402	
《従事人員数》	0.14	0.12	0.42	0.29	
その他の人件費	4,152	4,468	4,497	4,407	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	市内のみどりを保全していくため保存植物等補助金を支給する	目標	209件	207件	199件
		結果	199件	193件	—
成果指標 (アウトカム)	保存植物の件数の維持(増減)	目標	1件	1件	1件
		結果	△8件	△6件	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	みどりと環境基本計画の改定にあわせて、民有地のみどりの保全支援や緑化推進のあり方の検討を進める。また、保存植物の指定が解除される案件がここ数年で続いているため、保存植物等の所有者の管理負担を軽減するための制度そのもの見直し等についても検討する。

08-03-05-495

みどりの保全育成事業

◇ 執行状況及び成果等

1. みどりの保全保護補助金

年度	件名	保存樹木		保存樹林		生垣	
		本数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
30		143	572,000	18	1,386,060	73	375,200
元		126	504,000	17	1,293,260	71	367,200
2		120	480,000	17	1,293,260	70	360,400
3		117	468,000	17	1,293,260	65	336,300
4		113	452,000	17	1,292,401	63	328,300

保存樹木1本4,000円/保存樹林1㎡当り20円/生垣20m以上50m未満4,000円/50m以上100m未満5,400円/100m以上6,700円

2. 沿道斜面緑化保存補助金

年度	件名	計(円)	補助金単価 (円) 1㎡当り(円)	団体	金額(円)
元	2,168,160	20	35	2,168,160	
2	2,168,160	20	35	2,168,160	
3	2,168,160	20	35	2,168,160	
4	2,168,160	20	35	2,168,160	

事業カルテ (4年度決算)

公園緑地課

08-03-05-497

グリーンライブセンター管理運営経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市緑地法		
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち			
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり		
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出		
	関連する施策	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画				
関連する報告書など	多摩市みどりと環境基本計画年次報告書				
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	グリーンライブセンターは、平成2年4月に、「自然とのふれあい」、「花と緑の生活文化」の創造を目指す多摩市のグリーンライブ構想の拠点として開設された。具体的には緑化相談やみどりの市民活動支援を実施してきた。平成22年度には各種講座について上半期を市が企画運営し、下半期については恵泉女学園大学との共催により事業を実施した。平成23年度からは、恵泉女学園大学のみどりに関する専門性を生かすとともに、みどりに関する市民活動を市民が運営するために、恵泉女学園大学と多摩市グリーンボランティア連絡会を市民協働指定事業者として運営管理を委託し現在に至っている。令和3年度から施設の老朽化対策、ガーデンや施設の機能向上を図るため改修工事に向けた検討・準備を進めている。				

◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	市・恵泉女学園大学・市民団体との3者での運営管理を展開し、恵泉女学園大学には講座の開設、緑化相談、ガーデン及び温室等の管理を委託することで運営管理を円滑に行う。また、多摩市グリーンボランティア連絡会には、みどりだけではなく水を含めたみどりの保全育成に係る市民活動のネットワークづくり、人材育成等の事業を委託し、市はコロナ対応に留意しつつ全体調整を行うことで、引き続き、より良い施設運営を目指す。
予算の執行方法	講座の開設、緑化相談等の業務、ガーデン及び温室の管理を含む運営管理全般を市民協働指定事業として恵泉女学園大学に業務委託した。また、ボランティア講座を中心としたみどりの維持保全活動機能を強化するため、市民活動のネットワークづくり、人材育成を多摩市グリーンボランティア連絡会に委託した。
事業の成果	みどりのルネッサンスの取り組みとして、大学や市民団体等との連携による講座実施を通して、市民へのみどりに関する知識・技術の普及を図るとともに、市民がみどりに触れ合い、関わる機会を提供した。恵泉女学園大学の講座受講者によるグリーンライブセンター内でのボランティア活動やグリーンボランティア講座修了者による市内の公園・緑地へのボランティア活動なども実施されており、市民とみどりをつなぐ役割を果たした。

◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)		
決算額(単位:千円)	19,700 千円	21,582 千円	23,608 千円	22,313 千円	21,775 千円		
事業にかかる実コスト	27,269 千円	29,330 千円	31,668 千円	31,894 千円	34,983 千円		
内 訳	直接経費	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他特定財源	49 千円	0 千円	0 千円	110 千円	0 千円
		一般財源	19,651 千円	21,582 千円	23,608 千円	22,203 千円	21,775 千円
	間接経費	職員人件費	1,008 千円	1,202 千円	1,172 千円	2,733 千円	5,809 千円
		《従事人員数》	0.12 人	0.14 人	0.14 人	0.33 人	0.70 人
その他の人件費	6,561 千円	6,546 千円	6,888 千円	6,848 千円	7,399 千円		

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	市民にみどりの普及啓発の拠点として講座や緑化相談を開催し、みどりに関する情報を提供するとともに多摩市グリーンボランティア講座等の活動を支援する。	目標	講座の開催、緑化相談の充実及びグリーンボランティア講座の開催	講座の開催、緑化相談の充実及びグリーンボランティア講座の開催	講座の開催、緑化相談の充実及びグリーンボランティア講座の開催
		結果	講座開催数62回、第19期グリーンボランティア講座の開催	講座の開催数130回、第20期グリーンボランティア講座の開催	—
成果指標 (アウトカム)	みどりに関する講座及び緑化相談、グリーンボランティア講座等の事業実施により、市民一人ひとりが地域や家庭でみどり豊かで快適な街づくりを創出する。	目標	グリーンボランティア活動登録人数累計408名	グリーンボランティア活動登録人数累計436名	グリーンボランティア活動登録人数累計461名
		結果	グリーンボランティア活動登録人数累計421名	グリーンボランティア活動登録人数累計438名	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し 量的 的	財一 源般	方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
A	A	B	イ	館の運営を協働で行っている恵泉女学園大学の新規学生受入停止の発表を受けて、将来にわたって持続可能な運営体制の構築が課題である。

08-04-05-497

グリーンライブセンター管理運営経費

◇ 執行状況及び成果等

1. 来館者等

年度	件名 来館者（人）	相談（件）	講座数（回）	講座参加（人）
30	77,534	2,589	159	2,541
元	90,212	3,067	170	2,239
2	66,268	2,082	28	449
3	102,462	2,708	62	663
4	71,595	2,630	130	1,724

年度	多摩市グリーンボランティア講座				グリーンボランティア活動登録人数（累計）
	初級修了者（※）		中級修了者		
30	17期	27人	14期	9人	388
元	18期	16人	15期	12人	403
2	19期	継続	16期	8人	408
3	19期	18人	17期	6人	421
4	20期	17人	18期	4人	438

※19期初級は令和2年度中に終了せず、令和3年度に継続実施。

2. 報酬等経費

年度	件名 初級・中級講座謝礼 （円）
30	156,000
元	147,000
2	78,000
3	156,000
4	168,000